

「再処理施設 ウラン試験報告書（その１）（各建屋におけるウラン試験）（概要版）」新旧表

頁	行等	旧	新
6	15	5%	5wt%
10	19	「火災・爆発防止」	「火災・爆発の防止」
27	表 - 5	気液比	気液比 ¹ <u>1 気液比：ウラン溶液供給流量に対する噴霧用空気流量の体積比。</u>
36	表 - 11	・ 前処理建屋せん断処理・溶解施設において、通常運転(最大処理能力)時に、万一制御に異常があった場合にせん断を停止させるインターロックの作動がなかったことから適切に運転制御できることを確認した。	・ 前処理建屋せん断処理・溶解施設において、通常運転(最大処理能力)時に、溶解槽への燃料の過装荷を防止するための燃料せん断長さ位置異常によるせん断停止回路のインターロック等の作動がなかったことから適切に運転制御できることを確認した。
51	表 - 22 No.18	液位が緩やかに上昇することをが確認した。	液位が緩やかに上昇することを確認した。
53	表 - 23 No.3	ゲデオンは2系統設置されており、一方をウラン溶液用、他方を希硝酸用を使用すれば問題はないものの、改造を実施し、1系統使用時における流量の安定化を図る。	ゲデオンは2系統設置されており、一方をウラン溶液用、他方を希硝酸用として同時に使用し送液することで脈動は発生しないが、一方を待機状態としておくことが運転上望ましいことから、改造を実施し1系統使用時の流量安定化を図る。
53	表 - 23 No.7	炭素鋼	炭素鋼
59	表 - 24 No.38	緩んでいたためだった。	緩んでいたためであった。
60	表 - 24 No.46	(処置状況は、表 - 21のNo.12を参照)	(処置状況は、表 - 22のNo.13を参照)
69	表 - 25 No.36	洗浄等	洗浄塔
70	表 - 26 No.1	液位が緩やかに上昇することをが確認した。	液位が緩やかに上昇することを確認した。
70	表 - 26 No.2	ゲデオンは2系統設置されており、一方をウラン溶液用、他方を希硝酸用を使用すれば問題はないものの、改造を実施し、1系統使用時における流量の安定化を図る。	ゲデオンは2系統設置されており、一方をウラン溶液用、他方を希硝酸用として同時に使用し送液することで脈動は発生しないが、一方を待機状態としておくことが運転上望ましいことから、改造を実施し1系統使用時の流量安定化を図る。